

6. 101系統から120系統

系統番号	起点	途中経由地	終点	担当営業所	共同運行	運行頻度	備考
101	保土ヶ谷車庫前	洪福寺、桜木町駅前、元町、和田山口、間門	根岸駅前	保土ヶ谷 滝頭		B	
101系統 解説	旧市電の5系統の後を引き継ぐ路線です。保土ヶ谷車庫から根岸駅まで日中の所要時間は56分と割に距離の長い路線です。保土ヶ谷車庫を出て、峰小学校、洪福寺、浅間下で右折、高島町、桜木町駅、市庁前、元町、本牧を経て間門に至り、根岸駅まで行きます。旧市電時代は洪福寺から間門に至る路線で、当時は麦田町に路面電車の車庫がありました。麦田町に定期券売場があったのはその名残りでした。今でこそ石油コンビナートの立ち並ぶ根岸周辺ですが、かつては潮干狩りのできる海岸だったそうです。						
102	横浜駅前	浜松町、久保山、阪東橋、千歳橋	滝頭	滝頭		B	深夜バス運行
102系統 解説	旧市電の7系統の後を引き継ぐ路線です。横浜駅東口から戸部、浜松町までは国道1号線を走ります。浜松町で左折し、藤棚、久保山、黄金町、浦舟町まで直進します。浦舟町で右折し、中村橋を経て滝頭が終点です。かつてはその先八幡橋を経由し、磯子警察署から滝頭車庫前(現:市電保存館前)まで行く便があったのですが、現在では滝頭発着に統一されています。						
103	横浜駅前	御所山、日の出町1丁目、伊勢佐木長者町駅前、山元町、旭台	本牧車庫前	滝頭 本牧		IC	横浜駅前発山元町、旭台、根岸駅經由市電保存館前行深夜バス運行
	横浜駅前	御所山、日の出町1丁目、伊勢佐木長者町駅前、山元町、旭台	根岸駅前	滝頭		IC	
	横浜駅前	御所山、日の出町1丁目、伊勢佐木長者町駅前、山元町、旭台	根岸台	滝頭 本牧		B	
103系統 解説	旧市電の3系統の後を引き継ぐ路線です。市電の最盛期には生麦から山元町を結んでいました。そのため長きにわたり鶴見営業所がこの系統を担当していました。それは市電のかつての運行経路があるからだと思われます。山元町バス停付近の道路が少々広がっているのと、同バス停脇に定期券売場があるのはその名残りです(定期券売場は2001年3月で廃止)。横浜駅を出て戸部駅前で左折。御所山、日ノ出町1丁目、伊勢佐木町を経て山元町に至ります。山元町近くの打越橋は昔から絵になるポイントです。山元町で右折し、滝ノ上、旭台。本牧車庫への出入り便に限り、そこで左折して不動坂を下り本牧三溪園入口を経て本牧車庫へ行きます。それ以外は直進して根岸競馬場跡そばの根岸台が終点です。すぐそばは米軍住宅です。所管営業所は本牧、鶴見の共担、本牧営業所の単独を経て2007年4月から滝頭と鶴見の共担となりました。ただしこれも2008年2月に変更となり、現在は滝頭と本牧の共担となっています。						
104	新横浜駅前	トレッサ横浜、三ツ池公園北門、末吉、三ツ池道	鶴見駅西口 (鶴見駅入口)	港北		B	三ツ池公園北門～鶴見駅西口間14系統とあわせて頻度A
	新横浜駅前	港北区総合庁舎、トレッサ横浜、三ツ池公園北門	梶山	港北		IC	新横浜駅前発は平日の終バスのみ、梶山発は平日の朝と土曜、休日の深夜のみ運行
104系統 解説	新横浜駅と鶴見駅西口を結ぶ路線です。路線新設当時は鶴見駅東口発着でした。現在は14系統が一部新横浜駅からの発着になったので、14系統の子系統のような扱いになっています(14系統参照)。						

6. 101系統から120系統

系統番号	起点	途中経由地	終点	担当営業所	共同運行	運行頻度	備考
105	横浜駅前	元町、市庁前、元町、和田山口、大鳥中学校前	本牧車庫前	本牧浅間町		B	深夜バス運行
	横浜駅前	元町、市庁前、元町、和田山口、間門	本牧車庫前	本牧浅間町		C	深夜バス運行
105系統解説	旧市電の2系統を引き継ぐ路線です。8系統、103系統と並んで、本牧営業所を代表する路線です。横浜駅から桜木町駅、尾上町通りを尾上町、市庁前、元町、本牧通りを本牧原まで走ります。本牧原で左折し、大鳥中学校を経て本牧車庫へ行きます。一部の便と深夜バスは本牧原を直進し、三の谷、間門と進み、間門で左折の上産業道路経由で本牧車庫前まで行きます。						
106	本牧車庫前	和田山口、元町、桜木町駅前、保土ヶ谷駅東口	境木中学校前	本牧浅間町		B	
	本牧	本牧三溪園前、元町、桜木町駅前、保土ヶ谷駅東口	境木中学校前	本牧浅間町		DC →	平日の日中本牧発のみ運行
106系統解説	旧市電の4系統を引き継ぐ路線です。路線開設当時は境木中学校発でなく、国道1号線上の権太坂上が起終点で、境木団地(境木中学校)まで回送して折り返していました。境木中学校は戸塚区と保土ヶ谷区の境にあります。権太坂上からは保土ヶ谷駅、戸部駅、高島町と国道1号を上り、高島町で右折。桜木町駅、尾上町、元町、本牧、本牧三溪園を通り、本牧車庫に至ります。本牧車庫発は三溪園周辺のルートが若干異なります。三溪園の観光客対策のため、平日には本牧発で三溪園周辺を事実上循環して本牧原に出てくる便があります。全線で約1時間というロングラン路線です。						
107	洋光台駅前	萩台、上中里団地	洋光台駅	港南		B →	一方循環 深夜バス運行
107系統解説	元々は港南区と磯子区、金沢区を結ぶ路線でした。新設当初は113系統を名乗っていたそうなのですが、現在の113系統を旧市電13系統の代替系統として使用するために、113系統に変更されました。最初にできた路線が洋光台駅～田中～栗木町～氷取沢間の運行でした。その後洋光台駅からの上中里団地循環線ができ、また最初に運行開始した路線は金沢文庫駅及び港南車庫前へ延伸しました。上中里団地循環線は洋光台駅を出た後、萩台のトンネルを抜けて栗木町に向かうので、金沢文庫駅系統とは経由地が大きく異なっていました。港南車庫前～金沢文庫駅西口系統は2006年11月に路線分断の上、洋光台駅～金沢文庫駅西口間は京浜急行バスに移譲され、港南車庫前～港南台駅～洋光台駅間のみ残りました。残った区間は出入り便の扱いで運行本数に偏りがありました。2008年4月の217系統運行開始に伴い、洋光台駅前～港南台駅間が廃止となり、港南台駅前～港南車庫前間は108系統(3代目)に系統番号が変更となりました。						
108	港南台駅前	清水橋	港南車庫前	港南		IC	
108系統解説	2008年4月21日の217系統運行開始に伴い107系統のうち港南車庫前～港南台駅前間を系統番号変更の上登場した系統です。運行区間からわかるとおり港南営業所から港南台駅への出入り路線です。108系統という系統番号はこれまでに2回使用され、初代の108系統は横浜駅西口から三ツ沢グランド経由の新横浜駅行きとして運行されていました。市営地下鉄の新横浜延伸後もしばらく存続していましたが廃止となりました。そして、昭和62年10月に2代目の108系統として桜木町駅から本牧を経由して市電保存館に向かう路線で使用されました。						

6. 101系統から120系統

系統番号	起点	途中経由地	終点	担当営業所	共同運行	運行頻度	備考
109	横浜駅前	(この間急行)、山下ふ頭入口、(ベイブリッジ)、L8バース	スカイウォーク前	本牧		MC → EC ←	スカイウォーク前行は平日、土曜の朝のみ運行 スカイウォーク前発は平日の夕のみ運行
	横浜駅前	(この間急行)、山下ふ頭入口、(ベイブリッジ)、流通センター、大黒海づり公園	スカイウォーク前	本牧		MC → EC ←	休日のみ運行
	横浜駅前	(この間急行)、山下ふ頭入口、(ベイブリッジ)	スカイウォーク前	本牧		MC → EC ←	
	スカイウォーク前	L8バース、流通センター、大黒海づり公園、(ベイブリッジ)、山下ふ頭入口、(この間急行)	横浜駅前	本牧		EC →	土曜日の夕方のみ運行
	横浜駅前	(この間急行)、山下ふ頭入口、(ベイブリッジ)、大黒税関前、流通センター	大黒海づり公園	本牧		MC → EC ←	大黒海づり公園行は平日、土曜の朝のみ運行 大黒海づり公園発は平日の夕のみ運行
	横浜駅前	(この間急行)、山下ふ頭入口、(ベイブリッジ)、大黒税関前	大黒海づり公園	本牧		MC → EC ←	大黒海づり公園行きは平日の夕のみ運行 大黒海づり公園発は平日、土曜の朝のみ運行
	横浜駅前	みなとみらい大通り、桜木町駅前、中華街入口、山下ふ頭入口、(ベイブリッジ)、L8バース、大黒税関前、流通センター前、大黒海づり公園、スカイウォーク前、(ベイブリッジ)	横浜駅前	本牧		DC →	毎日2循環運行
109系統解説	<p>こちら2代目で、初代は弘明寺から洋光台駅という路線でした。江ノ電バスとの絡みから一部区間で急行運転をする路線でした。本数も非常に少なく、特に弘明寺からの便は1日数本しかありませんでした。現在の109系統はベイブリッジの開通にあわせて新設された路線です。当初は観光客輸送をメインとし、路線も海岸通りを大榎橋方面経由で運行されていました。ベイブリッジがブームの頃は乗り切れない事態も発生して臨時便を増発するなどいろいろと行われていましたが、現在では大黒ふ頭地区の通勤輸送に特化した路線となっています。ラッシュ時の逆方向への乗客が極端に少ないことから市営バス有数の赤字路線となり、廃止が取りざたされましたが補助金支給対象路線となり2007年4月の路線再編で大きく路線が変更されました。その結果、全便が横浜駅西口発着となり、運行も朝夕のみとなりました。</p> <p>2010年10月からは首都高速道路経由を取りやめ、国道357号線(ベイブリッジの一般道)を経由するルートに変更となり、横浜駅の発着も東口に変更となりました。また、日中に2本だけですが、横浜駅前からベイブリッジを経由して大黒ふ頭内を循環する便の設定が行われました。</p>						

6. 101系統から120系統

系統番号	起点	途中経由地	終点	担当営業所	共同運行	運行頻度	備考
110							
110系統解説	横浜駅と磯子の先の杉田地区を結ぶ路線バスでしたが、全線を京浜急行バスと乗り入れを行っていることから移譲対象路線となり、2006年3月15日の運行をもって市営バスは廃止となりました。ずっと以前は4系統が横浜駅と六浦(現在は追浜天神橋)を結んでいたもので、それを分割した路線でした。						
111	上大岡駅前	日野中央公園入口、洋光台駅前、港南台第一中学校前	港南台駅前	港南		B	
111系統解説	上大岡駅と洋光台駅、港南台駅を結ぶ路線です。上大岡駅を出てしばらくは鎌倉街道を走り、日野中央公園入口から洋光台駅に行きます。洋光台からは港南台第1小学校、港南環境センターを経て港南台駅に着きます。以前は港南台駅から港南車庫に行く路線出入り路線がありましたが、107系統に変更されました。						
112	上永谷駅前	すずかけ通、日野橋、日野中央公園入口	洋光台駅前	港南		C	
	野庭中央公園	すずかけ通、日野橋、日野中央公園入口	洋光台駅前	港南		IC	
	洋光台駅前	日野中央公園入口、清水橋	港南車庫前	港南		IC	
112系統解説	上永谷駅から洋光台駅をショートカットで結ぶ路線です。同じ区間を45系統が路線を持っていますが、112系統は野庭団地周辺を通ると日野中央公園入口方面に出て洋光台駅に向かいます。本数は少ないです。洋光台駅から港南車庫に行く路線は出入り線です。						
113	磯子車庫前	滝頭、吉野町駅前、羽衣町	桜木町駅前	磯子		C	
113系統解説	107系統の説明にあるとおり、最初は現在の107系統がこの番号を名乗っていたのですが、市電全廃の際に最後まで残った13系統の代替バスとしてこの系統番号は転用されました。旧市電13系統は元々は杉田～横浜駅を結ぶ路線でしたが、最終的には芦名橋～桜木町駅となりました。睦橋～阪東橋間は元々は吉野町経由でしたが、市電廃止・地下鉄建設計画の影響で市電廃止時は千歳橋～浦舟町経由で運行されていました。113系統は区間は市電廃止時に近いものになっていますが、途中経由地は吉野町回りとなっています。桜木町駅を出て、本町4丁目で右折。羽衣町、阪東橋、吉野町駅まで鎌倉街道を走ります。吉野町駅で左折し、中村橋、滝頭、八幡橋、を経て磯子車庫まで行きます。平日と土曜日の桜木町駅発の始発便で滝頭止まりがかつてはあり、この便だけ滝頭営業所の車両が担当していましたが2014年3月の変更で廃止となりました。その代わりに羽衣町始発磯子車庫前行が設定されました。						
114							
114系統解説	横浜駅とお隣東神奈川駅を結ぶ路線です。岡野町から浅間下、三ツ沢グランドと来ます。横浜駅西口発のみ87系統と同じルートで市民病院に立ち寄り、市民病院脇の坂を下り、以降は三ツ沢上町駅、松本、神奈川区総合庁舎を経て東神奈川駅西口に至ります。神奈川区総合庁舎(区役所)対策用の路線と言うことで、平日日中8本のみ運行となっています。						

6. 101系統から120系統

系統番号	起点	途中経由地	終点	担当営業所	共同運行	運行頻度	備考
115							
115系統解説	若葉台中央～鶴ヶ峰駅と鶴ヶ峰駅からグリーンヒル上白根周辺を循環する路線でした。5系統の関連系統として誕生しましたが、5系統に若葉台中央線が出来たため、全区間走る路線と途中止まりの路線で系統番号が異なる路線となっていました。2008年2月に神奈中バスに移譲され、市営バスとしては廃止となりました。これにより鶴ヶ峰駅より今宿、大貫橋、若葉台方面へ向かう市営バス路線がなくなりました。						
116							
116系統解説	若葉台中央と相鉄線の三ツ境駅を結ぶ路線で、神奈中バス、相鉄バスとの三社局乗り入れ路線でした。2007年12月に市営バス担当分は神奈中バスに移譲され、市営バスとしては廃止となりました。						
117							
117系統解説	117系統は2007年12月9日より横浜交通開発に移譲されました。横浜交通開発バス全系統路線データを参照して下さい。						
118							
118系統解説	青葉台駅とこどもの国の先の奈良北団地を結ぶ路線でした。青葉台駅からなら北団地へはかつては田奈駅経由の6系統、松風台経由の(旧)120系統とこの118系統でしたが、2007年3月16日にちから東急バスに移譲され、市営バスは廃止となりました。青葉台駅から桂台、田奈高校、こどもの国入口、奈良町を経由して奈良北団地折返場が終点でした。緑山循環線は奈良町から先、緑山地区を循環して青葉台駅に戻ります。緑山はTBSのスタジオの脇を通り、時には屋外のセットなどを見ることも出来る路線でした。						
119	鴨居駅前	新井町、千丸台団地、白山高校	鴨居駅前	緑	神奈中	C	深夜バス運行
	鴨居駅前	新井町、西谷駅前、上星川	峰小学校前	緑	神奈中	DC	休日運休 深夜バス運行
119系統解説	当初、鴨居駅と千丸台団地、白山高校周辺を結ぶ循環線として開設されました。本数は少ないですが、これによって千丸台団地から鉄道の駅へ行くルートが増えました。その後、鴨居駅から新井町、西谷、梅の木、上星川を経て峰小学校前に至る路線が出来ました。峰小学校に着いた市営バスは保土ヶ谷車庫に回送され、そこで折り返します。終点が保土ヶ谷車庫ではなくて、峰小学校なのは神奈中バスと乗り入れをしている関係からだと思われます。						
120							
120系統解説	12系統、36系統再編時に新横浜駅と菅田町地区を結ぶ路線として開設されました。よくよく地図などを見てみると、今までなぜこういう路線が出来なかったのかが不思議なぐらいの路線です。しかし、現時点では実験的な要素が強いのか日中を中心とした運行になっています。菅田町から一度西菅田団地に立ち寄り、菅田町入口まで行き、そこで左折して新横浜駅まで走ります。						